

塗装する塗る前に…

【用意しておく便利な物】

1. 水性フローリング用ニス

つやあり（高光沢）と、少しつやを抑えた中光沢があります。好みで選んでください。

2. 塗装用具

ニスハケやコテバケをお勧めします。ローラーは表面が荒れやすいので適しません。

3. ウェス

いらなくなった綿布で代用できます。タオル地は埃が出やすいので避けてください。

4. マスキングテープ

塗りたくない場所を保護するために使います。

5. 新聞紙やビニールシート

周辺の汚れ防止に使います。

6. ゴーグル、マスク、軍手やビニール手袋など

塗料の飛び散りによる汚れ防止に使います。

7. 汚れてもよい服装

衣類に塗料がつくと、きれいに落とせません。

【塗装を避けた方がいい環境】

1. 雨天や、湿度の高い曇天

（塗料が乾きにくくなったり、表面が白く濁ることがあります）

2. 極端に気温が高い日

（塗料の乾きが早すぎるため、失敗しやすくなります）

3. 極端に気温が低い日

（塗料が乾きにくくなります）

4. 強風

（塗装面にゴミがつきやすくなります）

水性フローリング用ニスの塗装手順

1. 塗装前の準備

フローリングにワックスを塗ってある場合は、まずワックスを剥がしてください。ワックスの上にニスを塗ると、剥がれやすい傾向があります。

また、表面の汚れを充分に落としておくことも重要です。特に台所の床は、気づかないうちに油膜がついていることもありますので、床面を充分に掃除してください。

表面が荒れてけば立ちが起きている場合は、ただ上から塗り重ねてもきれいに仕上がりません。塗装前にサンドペーパー（240～400番くらい。荒れ方により調整）で木目に沿って研磨し、表面を調べておいてください。

2. ニスをよく攪拌する

一部の成分が沈んでいることがあるため、塗装前にしっかり混ぜておきます。

試し塗りをして、ニスが塗りにくい場合は水（水道水）を加えて調整します。

3. 木目に沿って塗装する

一気に厚みをつけないように、薄い層を塗りつけるイメージで、均一な厚みになるように塗装します。

一筆書きにする必要はなく、乾く前であれば一度塗ったところを再度塗り直しても問題ありません（乾きかけた場所を無理に直そうとするのは逆効果になります）。

4. 完全に乾かしてから、仕上がりを確認する

容器に記載されている乾燥時間は20℃の環境で乾かした場合の目安であり、塗りつけた量が多い場合や、湿度が高い場合などには表記以上に時間がかかることもあります。

乾いた後の仕上がりが好みに合っていれば、そのまま完成となります。塗り足りないと感じる場合（もっと厚みが欲しい、つやが足りないなど）は、工程3へ戻ります。